

**近畿地方交通審議会  
近畿船員部会議事録**

**第171回**

**令和4年12月22日**

日 時 令和4年12月22日(木) 16時30分から

場 所 近畿運輸局 会議室(船員部会室)

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、万谷委員、三輪委員

労働者委員 浦委員(欠)、佐藤委員、井上委員(欠)

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員

運 輸 局 大谷海事振興部長(欠)、村上海事振興部次長  
平田船員労働課長(欠)、水谷船員労政課専門官、  
竹内船員労働環境・海技資格課長

議題1. 船員の特定最低賃金の改正に関する答申について

議題2. 管内の雇用等の状況について

議題3. その他

## 議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第171回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第170回船員部会」の議事録につきまして、ご承認願いたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとします。

次に議題1の「船員の特定最低賃金の改正に関する答申について」に入ります。

本議題に関しては、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業」「近畿海上旅客船運送業」および「近畿漁業（沖合底びき網）」の3業種について最低賃金専門部会を設置し、調査・審議をしていただきましたが、その結果について各専門部会からご報告いただいた上で、審議することとしたいと思います。

まず、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会」の部会長を務められました定岡委員からご報告いただきます。

定岡委員：

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告いたします。

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会は、11月24日及び12月7日の2回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金の改正については、職員及び部員ともに一律1,350円アップとし、現在の、職員252,650円を254,000円に、ただし書きの職員236,200円を237,550円に、はしけ長252,650円を254,000円に、部員193,900円を195,250円に、ただし書きの部員184,600円を18

5, 950円にそれぞれ改正することが適当である。」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

横見部会長：

ありがとうございました。

次に、「近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会」ですが、こちらについては私が部会長を務めましたので報告いたします。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告いたします。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会は、11月24日及び12月14日の2回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿海上旅客運送業最低賃金の改正については、職員は1, 100円アップとし、現在の、職員247, 200円を248, 300円に、部員は1, 050円アップとし、現在の、部員185, 850円を186, 900円に、それぞれ改正することが適当であるとの結論に至りました。

以上、報告いたします。

横見部会長：

最後に、「近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会」ですが、こちらについても私が部会長を務めましたので報告いたします。

近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会は、10月14日に部会を開催しました。

その結果、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金の改正については、1, 000円アップとし、200, 000円を201, 000円に改正することが適当である。との結論に至りました。

以上、報告いたします。

ただ今の各専門部会長の報告及び資料1の改正案につきまして、ご質問等はございますでしょうか。

横見部会長：

特に無いようですので、「船員に関する特定最低賃金近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金、近畿海上旅客運送業最低賃金、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金）の改正について」は資料1の改正案1～3のとおり船員部会の結論としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、この改正案のとおり決定することとし、近畿地方交通審議会会長にご報告したいと存じます。

それでは事務局よりお願いいたします。

・海事振興部次長挨拶

〔 村上海事振興部次長（挨拶） 〕

・最低賃金改正の今後のスケジュールについて

〔 水谷船員労政課専門官（説明） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。

次に議題2の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

水谷船員労政課専門官：

それでは「令和4年11月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

### ①求人関係

新規求人数は、43人（前月比－88人、67.2%の減、前年同月比：－18人、29.5%の減）となっています。

月間有効求人数は、192人（前月比－20人、9.4%の減、前年同月比：＋23人、13.6%の増）となっています。

### ②求職関係

新規求職者数は、11人（前月比－20人、9.4%の減、前年同月比：＋23人、13.6%の増）となっています。

月間有効求職者数は、41人（前月比－1人、2.4%の減、前年同月比：＋1人、2.5%の増）となっています。

### ③成立状況

当月の成立数は、4人（前月比：±0人、0.0%の増減無、前年同月比：－4人、50.0%の減）となっています。

### ④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員2人、機関部職員1人、甲板部部員1人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代0人、30歳代1人、40歳代1人、50歳代1人、60歳代1人、70歳代0人となっています。

## 2. 新規求人・求職者の取扱実績

### ①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員34人（甲板部18、機関部16人、無線部0人、事務部0人）、部員9人（甲板部5人、機関部2人、無線部0人、事務部2人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員7人（甲板部6人、機関部0人、無線部1人、事務部0人）、部員4人（甲板部3人、機関部0人、無線部0人、事務部1人）となっています。

### ②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が0人、定年退職3人、雇用期間満了1人、本人の申し出7人、自己の健康0人、倒産0人、就労中0人、不明0人となっています。

### ③新規求職者の年齢別

30歳未満1人、30歳代1人、40歳代1人、50歳代4人、60歳以上4人となっています。50歳以上は8人で占める割合は72.7%、30歳未満は1人で占める割合は13.0%です。

## 3. 失業等給付金支給状況

受給資格者数は18人で、基本手当の支払実人数は4人、給付件数は5件となっています。給付金額は914,376円です。前月は4人、4件の422,830円でした。

それから、高年齢求職者給付金が1件338,000円、再就職手当が0件0円、就業促進定着手当が0件0円によって、当月支給額計は、1,252,376円となります。

## 4. 月間有効求人倍率の推移

11月の近畿船員は4.68倍で、前月比-0.37ポイント、前年同月比、+0.45ポイントとなっています。

## 5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は192人で、このうち、新規求人者数は43人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は0人、他局成立は0名でございました。求人の取り消しは26人で、理由の内訳は有効期限切れ23人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ3人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は41人で、前月との差は-1人でした。

当局の紹介による求職側の成立は3人、他局成立は1人でした。

求職の取り消しは7人で、理由の内訳は期限切れ4人、自己応募・縁故により採用3人、自己都合により取り下げ0人、その他0人となっています。

#### 6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

- ① 10月の全国の月間有効求人数は、3,029人で、前月比100.1%、前年同月比は105.0%となり、144人増加しています。
- ② 10月の全国の月間有効求職数は、818人で、前月比97.6%、前年同月比95.4%となり、39.0人減少しています。
- ③ 10月の全国の成立数は、81人で、前月比126.6%、前年同月比では115.7%となり、11人増加しています。
- ④ 10月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により3.60倍となっています。10月の全国陸上は季節調整値により1.35倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

船員雇用状況については、以上となりますが、

この時間をお借りしまして、先月の部会において、土屋委員よりご要望事項がございました「月間有効求人倍率の推移」について、資料として提供させていただきました。

こちらは、お手元に5枚セットの資料をつけさせていただいておりますが、先ほどご説明いたしました部会資料1の4ページにあります「月間有効求人倍率の推移」の5年間分となっております。

横見部会長：

どういう質問でしたか。

土屋委員：



毎月の有効求人倍率を出していただいているのですが、数年とか少し長い期間で考えると、最近特に船員さんが足りないという実感があるので、それが見られるように、少し広く、過去四、五年前と比べてどうかという点で見られるような資料がありませんかというお願いをしました。

横見部会長：

ありがとうございます。どうなのでしょうね。平成28年からですか。私も今初めて見たところなんですけれども。

土屋委員：

見ると直近半年ぐらいが急激に上がっているようにも見えます。

横見部会長：

そうですね。

土屋委員：

ここ2年ぐらいは毎年6月に上昇していますが、これは何か理由があるんですか。令和3年度とか令和2年度の6月で見られます。今年は様式が違うんですね。

水谷船員労政課専門官：

はい。今年は、様式が変更になりました。

土屋委員：

令和3年と令和2年が6月に上昇しています。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

本日は、船員労政課長が不在のため、私から説明申し上げてよろしいですか。

横見部会長：

お願いします。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

6月というのは、多くの船社でボーナスの時期になっており、ボーナスが支給された後、退職する船員が多少なりとも発生します。それを見越して事業者側でも前もって求人票を出してくる場合が見受けられます。それと、補足させていただきますと、「近畿運輸局管内の雇用情勢」の求人者及び求職者の人数は、一桁から三桁の件数であり、その件数の少しの増減で、大幅に求人倍率が変動することになります。よって、全国の求人倍率も併せてご覧いただければと思います。

横見部会長：

ありがとうございます。ボーナスということであれば冬の退職増もあるわけですね。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

12月の時期も求人倍率が上昇する場合もあると思います。

横見部会長：

恐らく冬のほうが金額が多いですね。そうなると冬のピークはどのあたりに表れるんですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

求人側では、年度末で退職者が発生する機会が多いことや新卒者などを採用したい意向もあると思われるので、冬期ではなく4月に求人倍率が上昇する傾向にあると思います。

横見部会長：

4月。はい、ありがとうございます。

全国を見てということであれば、平成28年から大体……

竹内船員労働環境・海技資格課長：

全国の陸上求人倍率と全国の船員求人倍率を比較すると、3倍程度の差があると思います。

横見部会長：

そうですね。でも、平成28年は陸上の2倍程度で落ち着いていたんですよ。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

はい。2倍程度の時期もありました。

横見部会長：

少なくとも5年前まではそれほど、今に比べたら船員不足は深刻じゃなかった。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

現在でも、船員は不足しており、また、高齢化が進んできているので、国土交通省では、若年船員の確保のためにさまざまな取り組みを行っており、近年で見ると、若年船員については、微増傾向になってきております。

横見部会長：

陸上との乖離が2倍から3倍ぐらいに入ってきたのが令和3年の5月ですかね、そのあたりから需給のギャップが顕著になってきて、コロナとか関係あるんですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

コロナと求人倍率の関係は、把握しておりませんが、やはり海上労務の特殊性ということで、多くの船社が3か月乗船して1か月休みというパターン

が一般的となっていますので、今の若年者のニーズに合わないというか、少し避けられているところはあるかもしれません。現在、そういう若年の方にも興味を持ってもらって、船員になっていただきたいということで、さまざまな取り組みを行っているところです。

横見部会長：

ありがとうございます。

土屋委員、よろしいでしょうか。

土屋委員：

はい、ありがとうございます。

水谷船員労政課専門官：

これで私の報告は以上になります。

横見部会長：

それでは、改めましてただいまの資料1、2、3のご説明に関しまして何か質問などございますでしょうか。

三輪委員：

全然勉強不足なので教えてほしいのですが、資料1の3ページのところの失業等給付金受給者の内訳の一覧で、上の段のところの求職者給付の基本手当で商船等のところ、人員が4人に対して給付件数が5というのは、1人が複数手当を受けることができる、そういう何かパターンがあるんですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

これも私から説明させてもらってよろしいでしょうか。

基本的に求職者給付で、4人の人員であれば、給付件数も4件になります。

これが基本になりますが、例えば、受給者の1人が認定後に乗船することが決まった場合、雇用年月日までの精算が生じることになるので、臨時の認

定日を設定し対応することから、給付件数も1件増加することになります。

三輪委員：

なるほど、分かりました。ありがとうございます。

横見部会長：

ほか、いかがでしょうか。

開委員：

ちょっと確認なんですけど、よろしいですか。

横見部会長：

お願いします。

開委員：

専門部会の資料2のところ、求人側の成立が全くなくて、求職側のほうで成立があったということは、これは他局からの求人を紹介されて決まったという理解でよろしいですか。最初の1ページに求人側の成立はゼロと記されています。一方8ページの求職側の成立では当局の紹介で3件成立したとあります。これは他局の求人票を当局が紹介したということですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

そのとおりです。

横見部会長：

ほか、いかがでしょうか。

これ、7ページの下から3行目の航行区域が遠洋大西洋の冷凍運搬船の機関長の求人があります。こういうのも近畿運輸局に入ってくるんですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

求人票については、求人者が全国の運輸局等へ申し込みを行うことが可能となっています。

例えば、船社の本社が東京都にあって、大阪市に事務所があるような場合、当局に対しても求人者の申し込みができます。

横見部会長：

外航は中央で、内航は地方で、そういう分け方をしているわけではないということですね。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

外航海運、内航海運に関係なく求人者の申し込みは、全国の運輸局に対して行うことができます。

村上海事振興部次長：

オペレーターさんが東京に固まっているわけではありません。タンカーのオペレーターさんは東京に集中している傾向はありますが、船員を雇っているところと云ったら、西日本のほうがかなり多いですし、先生おっしゃるとおり、冷凍運搬船はなかなか我々も珍しいなど、というのが正直なところです。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

水谷さん、航行区域が遠洋大西洋の冷凍運搬船の機関長の求人についての詳細については、次回の船員部会で報告したいと思いますが、いかがでしょうか。

水谷船員労政課専門官：

はい、分かりました。調べまして次回船員部会でお伝えいたします。

村上海事振興部次長：

具体的にどこの会社か。竹内課長が説明したとおりなのか、たまたま労務管理をやっている、オペレーターで自分のところで船員さんを抱えておられるような会社なのか。オペレーターで自社船に雇用船員は配乗するような優良なところは、なかなかうちには求人はないというのが事実です。その辺もちょっと我々も調べたいなと思います。

横見部会長：

すみません、基本的なことが分からなくてすみません、細かいことですがよろしくをお願いします。

ほか、いかがでしょうか。

では、ないようですので、それでは次に、議題3のその他に入ります。

村上海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、10月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、

貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比100%となっております。

貨物船は鉄鋼、原料、セメントが減少しましたが、自動車等多品目は増加したことから前年同月比で増加に転じたようです。一方、油送船は全品目で減少し、前年同月比においても減少に転じており、貨物船と油送船で明暗が分かれた実績になっています。

対前月比は、貨物船、油送船とも全品目で増加しておりますが、前月の台風の影響による反動によるものです。

(貨物船の概要)

10月の貨物船の輸送量は、前年同月比105%、前月比114%となっております。

鉄鋼については、前年同月比で94%。荒天による時化の影響があったようですが、10月も鉄鋼の出荷は低調なようです。

北海道航路ではタマネギの出荷が始まり、前年は干魃の影響で農産品の輸送は低調でありましたが、今年は前年に比べて順調であるようです。

沖縄航路は全国旅行支援の実施や修学旅行などの学校行事の再開で観光客も戻り輸送は堅調に推移しているようです。

自動車は前年同月比139%。自動車部品の欠品の影響が続いていましたが、生産回復の兆しが見えてきたようです。

#### 油送船の概要

10月の油送船輸送量は前年同月比95%、前月比で112%となっています。

黒油は前年同月比98%、石油火力発電所向けの輸送が堅調な反面、製油所間転送の減少が全体を押し下げる結果となったようです。

白油は、前年同月比96%、ケミカルの低迷に伴い原料となるナフサの輸送が落ち込んだものの、全国旅行支援の開始に伴う航空燃料やガソリンの需要は増加が見られたようです。

それでは3ページ以降、貨物ごとの状況です。10月の欄と対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、	前年同月比で	93.6%	、	前月比では	121.8%		
原料は、	前年同月比で	93.3%	、	前月比では	110.9%		
燃料は、	前年同月比で	108.7%	、	前月比では	118.0%		
紙・パルプは、	前年同月比で	111.6%	、	前月比では	125.2%		
雑貨は、	前年同月比で	105.0%	、	前月比では	111.2%		
自動車は、	前年同月比で	139.0%	、	前月比では	107.3%		
セメントは、	前年同月比で	99.1%	、	前月比では	119.5%		
貨物船全体の輸送量は、	1,839万9千トン	で前年同月比で	104.9%	、	前月比では	113.9%	となっています。

次のページをご覧ください。タンカーの状況です。

黒油（こくゆ）は、	前年同月比で	97.8%	、	前月比では	107.4%
白油（はくゆ）は、	前年同月比で	96.3%	、	前月比では	114.1%
ケミカルは、	前年同月比で	95.4%	、	前月比では	110.8%



一般タンカーの輸送量は、788万8千トンで前年同月比で 96.7%、前月比では 111.8%となっています。

続きまして、

高圧液化は、前年同月比で 87.1%、前月比では 113.7%

高温液体は、前年同月比で 77.9%、前月比では 114.5%

耐腐食は、前年同月比で 86.1%、前月比では 106.6%

特タン船の輸送量は、101万2千トンで前年同月比で 85.8%、前月比では 110.8%となっており、全てのタンカーの合計は、890万0千トンで前年同月比で 95.3%、前月比では 111.7%となっています。

次に資料5、長距離フェリーの令和4年10月の輸送実績でございます。

10月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずトラックですが、

北海道は、14,432台で、前月比 93.1%、前年同月比で 93.4%

北九州は、32,946台で、前月比 105.5%、前年同月比で100.4%

中九州は、10,535台で、前月比 112.3%、前年同月比で108.8%

南九州は、10,715台で、前月比 119.6%、前年同月比で100.3%となっています。

次のページ、旅客でございます。

北海道は、10,203人で、前月比 69.1%、前年同月比で 98.2%

北九州は、63,190人で、前月比 129.5%、前年同月比で143.8%

中九州は、24,983人で、前月比 139.2%、前年同月比で147.8%

南九州は、21,906人で、前月比 157.1%、前年同月比で142.3%となっています。

次のページ、乗用車でございます。

北海道は、4,155台で、前月比 77.7%、前年同月比で126.7%

北九州は、23,195台で、前月比 120.5%、前年同月比で134.1%  
中九州は、4,471台で、前月比 147.8%、前年同月比で142.0%  
南九州は、7,417台で、前月比 140.4%、前年同月比で135.2%  
となっています。

九州航路の旅客と乗用車は対前月比130～150%前後で大きく上回っておりますが、9月の台風14号の反動と10月11日から始まった全国旅行支援の影響と考えられます。

北海道航路につきましては、日本海航路という特性から毎年10月を境に旅客が減少してく傾向があり、今年についても特にイレギュラー感は無いの事でした。

私からの説明は以上でございます。

横見部会長：

ありがとうございました。

ただいまのご説明について何かご質問などございますでしょうか。

北海道方面は、あまり旅行割の恩恵はないんですか。

開委員：

そうですね。ないことはないんですけど、こうやって改めて見ると少ないですね。

横見部会長：

旅客の比率が少ないだけなんですかね、主にトラック輸送が占めているからということなのでしょう。

開委員：

トラックの荷動きはあるんですね。先ほど貨物船でも説明がありましたけれども、北海道ではタマネギとかジャガイモとか、今年は割と生育はいいと聞いています。一方、北海道へ持って行く方の、荷動きがちょっと少ないとか悪いですね。

横見部会長：

ああそうですか。

開委員：

お客さんももう一つ旅行支援があまり盛り上がりませんね。

横見部会長：

かなりお得な制度ですのにね。

村上海事振興部次長：

一般の我々では船旅を楽しむには厳しいと感じます。その点、夏は本当にクルーズ船を安いお金で乗れるといたしますか、バルコニーもついていて、日中ずっと乗っていますので日光浴もできるような感じで本当に素晴らしい。

横見部会長：

本当にクルーズですよ。

村上海事振興部次長：

本当にいい、船も大きいですし、見渡す限り海ですし、本当にいいんですけど、営業の方は10月以降は、下がるとおっしゃいますね。

開委員：

そうですね。この時期、雪の降る前で見るところもあまりありません。冬場はこんなものですね。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは続きまして、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見情報等ございましたらご発言をいただきたいと思います。労働者委員の方からいかがでしょう。

佐藤委員：

情報なんですけど、以前の船員部会で南海フェリーへの支援というところで発言させてもらいましたが、このたび、和歌山県のほうが和歌山徳島航路に対する物価高騰に対する取組の一環として、「和歌山徳島航路物価高騰支援金」として、12,421,000円を交付することが和歌山県議会で議決されたので、ご報告いたします。

横見部会長：

ありがとうございます。

それでは、使用者委員のほうから何かございますでしょうか。

土屋委員：

有効求人倍率の資料ありがとうございました。

ちょっと直接あれですけど、私どもの周りでいきますと、やっぱりコロナの間、少し船員さん事情、少し落ち着いていたのかなという感じがあったんです、逆にちょっとコロナは収まったわけではないですけども、何となく社会の捉え方が変わったのにつれて船員さんがやっぱり足りないということで、いろいろ動かれる人がいるのか、足りないというのが少し表面化、また改めてしてきたような感覚を持っています。こういう資料が本当にそのままなのかどうか、ちょっとまだ分かりませんが、見ますと、春ぐらいからぽこぽこっと2.5倍ぐらいだったのが3.34倍とか、全国の船員さん、平均値となっているので、その辺がひょっとしてそういう動きとリンクをしているのかなというふうに資料を見させていただいた次第です。

最低賃金の件もありましたけど、燃料費高騰を受けてなのか、それからいろんなところでなってくるのかなと思っています。

一方でさっきちょっと資料もありましたけれども、未経験者の面接というか、実は統合というのが、このところ私どもの会社、あるいは関連会社も含めていくと、ご紹介いただいたりしたのがあって、世の中の構造というのもコロナで少し諦めている人がいたりとか、そういうこともあるのかなということで、そういう新しい方が出てきたというのものもあるのかなというのは、直近ありましたのでこちらご報告させていただきます。

横見部会長：

ありがとうございます。ほか、何か使用者委員のほうからありますでしょうか。

開委員：

少し不勉強なところで教えていただきたいのですが、失業率とかいう言葉がありますよね。例えば船員の失業率という数値はどこかに統計的にあったりするものですか。

水谷船員労政課専門官：

分からないので宿題でお願いします。

横見部会長：

そのご質問の意図としては、コロナで失業率が高くなっているかどうかということでしょうか。

開委員：

船員不足が失業率という数字に表れているのかどうか。そもそもそういう数字があるのかどうかも不勉強なので、お尋ねしました。

横見部会長：

私もすごく関心があるところですので、水谷さん、お手数ですがけれども、よろしくお願ひします。

横見部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は来年1月26日（木）16時00分からとなっておりますので、皆様よろしくお願ひいたします。

（配付資料）

資料1．令和4年11月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和4年11月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和4年10月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和4年10月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和4年10月分まで）